

「も～も～スクール」

平成28年9月15日（木）

「も～も～スクール」とは・・・

福島県酪農青年研究連盟、特定非営利活動法人ふくしま農業復校ネットワークが主催（共催）で行っている事業。

子どもたちが直接牛と触れ合って搾乳を体験したり、酪農家の生の声を聞いたりすることで、毎日給食で飲んでいる牛乳の生産現場や優れた栄養価について知るとともに、食と農に対する関心を高めることが目的。

当日は、仔牛2頭、親牛1頭が来てくれました。最初に、牛の体のしくみや牛乳の栄養について、牛乳のできる食べ物などの話を聞きました。体験活動は、バター作り体験、仔牛とのふれあい、搾乳体験の3つを準備していただきました。

スタッフの方々のとても温かい雰囲気と、子どもたちの気持ちにより添ったかわりの中で、いきいきとした表情で活動する子どもたちの姿を見ることができ、実際に見たり、触れたりする経験は何物にもかえがたいものだ改めて実感することができました。

バター作り

牛乳と生乳が入ったペットボトルを「シャカ、シャカ、シャカ、シャカ」と振っていくと、次第に固まりができて、バターのできあがり。できたバターは、クラッカーにぬっておいしくいただきました。自分で

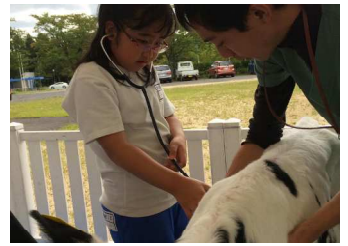
作ったバターの味は格別！！



仔牛とのふれあい

ブラッシングしたり、なでてあげたり、獣医さんから聴診器を借りて、心臓の音を聞かせてもらったりしました。

牛のかわいらしさに惹かれて、何度も柵の中に入って牛と触れ合う子どもたちもいました。



搾乳体験

牛の大きさに驚きながらも、そっと体に触れてその温かさを感じたり、搾乳のやり方を教えてもらいながら、真剣な表情で挑戦したり、貴重な体験をすることができました。



